

でんでん通信

目黒区議会議員 **かいでん 和弘**

Theme

台風 19 号の振り返り (完全版)

10月12日に上陸した台風19号について。

この台風19号は、目黒区政史上初の「避難勧告」が発令されるなど区内にも大きな影響を及ぼし、特に区役所の対応については多くの課題が浮き彫りとなりました。

そこで今回、Twitter や Facebook などで区民の皆さまから寄せられた改善要望をもとに、台風19号への区の対応を振り返ります。

なぜ目黒川は氾濫しなかったの？

今回目黒川の水位はあふれ出すまであと1.29mという高さまで上昇しましたが、幸い氾濫には至りませんでした。

これは、目黒川流域の船入場調節池や貯留管などの治水施設の働きということもありますが、実は今回、それらの施設があまり能力を発揮しないうちに台風が通り過ぎたのです。(船入場調節池は容積の1%しか取水していません)

ではなぜ氾濫しなかったかという、一番の理由は目黒川の上流の世田谷区に大雨が降らなかったからです。決して人間の治水力が自然に勝ったわけではないので、今後も油断はできないのです。

なお、今回の雨量は駒場で観測した33mm/hが区内での最大でしたが、東京都では75mm/hの雨まで氾濫しない川にするために、今後30年かけて目黒川の治水事業を進めていく計画です。

具体的には…

- ① 河床をより深く掘削する
- ② 川の沿道に水をため込む保水性の舗装をする
- ③ 上流の世田谷区に調節池を整備する
(上流の北沢川、烏山川、蛇崩川の3か所)

水害への対応を学ぶため、昨年豪雨災害に見舞われた倉敷市真備町を視察してきました。

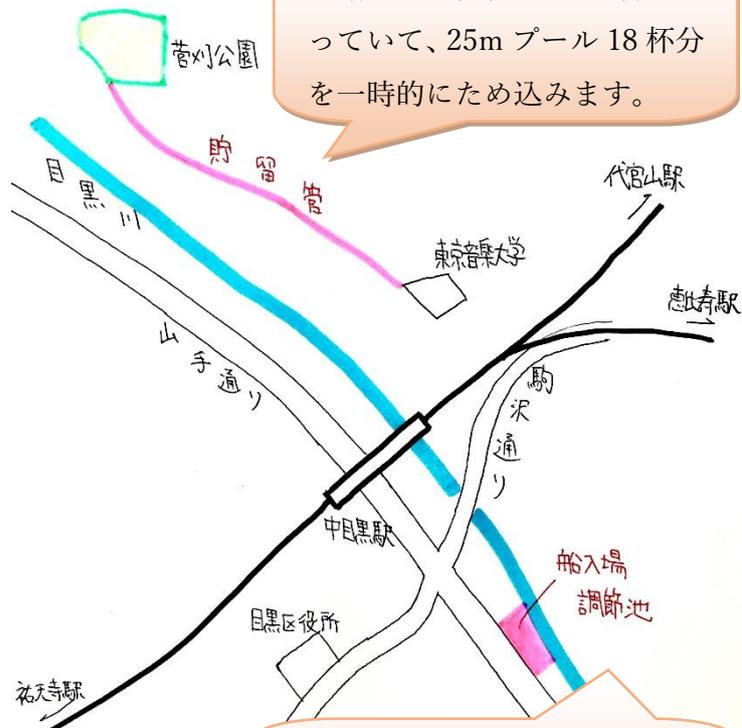


台風 19 号 (10月12~13日)

区内での被害状況まとめ

民家の一部損壊	31件
道路・公園における倒木	76件
避難者	426名
砧野球場・サッカー場が冠水	

道路の下に直径4mの管が通っていて、25mプール18杯分を一時的にため込みます。



25mプール112杯分の川の水を一時的にためられます。



◀ 船入場調節池
壁面の黒い溝へ水が流れ込みます

👉 次のページから、区民の皆さまから頂いた **ご要望** と、それに対する区役所の見解を掲載します。



要望 1

防災無線“神話”からの脱却



台風に備えて窓とシャッターを閉めきっていたので、防災

無線は何も聞こえませんでした。情報発信の方法について改善をお願いします。



目黒区 Meguro City 防災無線が聞こえなかったという事例は多数把握しています。防災無線だけでなく、他の手段もあわせて活用するなど情報発信の多様化を進めていきたいと思ひます。

かいでん

防災無線を廃止すべきだとは思ひませんが、目黒区の姿勢は防災無線に頼りすぎているように感じます。聞き逃す恐れのある“音声情報”だけでなく、何度でも確認できる“文字情報”をより活用するなど、あらゆる手段で伝えて行くことが重要です。

要望 2

防災無線ダイヤルの改善

防災無線で流れた情報を聞くためのダイヤルが、利用希望者が殺

到したために通話中で聞くことができませんでした。より多くの方が聞けるよう改善するか、文字情報による広報をお願いします。

目黒区 Meguro City 電話回線が数本に限定されているため、混雑するとつながりにくい場合があります。文字情報として知らせる方法も今後検討していきまひす。

かいでん

目黒区には、防災無線が聞き取れなかった方のために、無線と同じ情報を電話で聞くためのダイヤルが設定されています。(👉)

ところが19号の時には回線が込み合ひ、「ただいま通話中…」となる時間帯が発生しました。

そもそもこのページから電話をかけることのできる方に向けてなら、防災無線の情報を文字で記載すれば電話自体が必要ないのではと思ひますし、このサービスの必要性も含めて、今後検討すべきだと思ひます。

目黒区 HP『防災行政無線の放送内容』 <https://www.city.meguro.tokyo.jp/mobile/iza/musen.html>



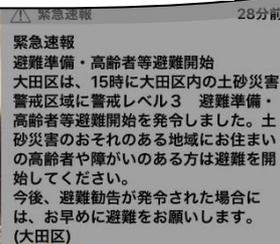
要望 3

エリアメール（アラーム）の実施

避難勧告などの情報を、エリアメールのような方法で通知し

てほしい！ 世田谷区や大田区の通知は頻繁に来ていたのに、目黒区は何もないから逆に不安でした！！

目黒区 Meguro City 今回は目黒川流域に限った避難勧告だったため、防災行政無線や生活安全パトロール（青パト）車などで対象地域に集中的に周知をしていました。エリアメールを含む情報発信のあり方については、今後検討していきまひす。 **大田区のエリアメール** >



かいでん

要するに、目黒区ではエリアメールが“存在しない”わけではなくて、“やればできるが今回は（地域が限られていたために）あえて使用しなかった”ということです。今後はぜひ、ためらうことなく実施していただきたいと思ひます。

なお、目黒区には『防災気象情報メール』というサービスもあります。アドレスを登録すると、各種警報や水位情報、目黒区からの気象に関するお知らせが届くようになります。（平成30年9月の時点で登録者数は4,450人）

登録はこちらから <https://www.city.meguro.tokyo.jp/online/bosaikisho.html>



要望 4

ホームページの改善



目黒区のホームページはアクセスが集中し、すぐに閲覧できなくなっていました。災害時こそ、一番必要となるので、早急な対応をお願いします。



台風 19 号当日、目黒区公式ホームページはサーバのダウンはなかったものの、午前 8 時頃から閲覧しづらい状況が続きました。トップページを 13 時 55 分に緊急・災害時用画面に切り替えましたが、結局、閲覧状況は夜まで改善されませんでした。今回の教訓から、アクセス集中に強い CDN（コンテンツ・デリバリ・ネットワーク）の導入に向けて取り組みを進めています。

なぜ HP は重くなった？



自治体情報
セキュリティ
クラウド



私たちが気づくことはありませんが、区役所の HP へアクセスするときには、実はいったん東京都が管理するクラウド（自治体情報セキュリティクラウド）を通過して、それぞれの区の HP へ行くようになっています。（不正アクセスを防ぐための仕掛けです）

今回は目黒区だけでなく他の区でも、HP が重くて開かないという現象が発生しましたが、各区の HP が弱かったのではなく、都内各地からアクセスが集中した都のサーバが重くなったためではないか、という可

能性も指摘されています。それを受けて先日、目黒区長から都知事へ改善の要望を行いました。

要望 6

他のページへの誘導

HP がダウンした後でも、SNS でリンクを貼って、どのページにどの情報があるか、一覧形式でわかりやすい誘導をお願いしたいです。

その際、目黒区の運営するページだけでなく、区民にとって必要な情報が載っているのであれば『東京都水防災総合情報システム』など、東京都の運営するページも併せて紹介してください。



ご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきたいと思います。

かいでん

目黒区の HP が重くなって見られない時、東京都の HP を見ると欲しい情報が載っていることがあります。それぞれのサイトへのリンクは私の HP にありますのでご参照ください。
(トップページ→区政の情報)

<https://kazu-kaiden.com/information/>

東京都 水防災総合情報システム

東京都が管理する目黒川と呑川の水位情報が掲載されています。



東京都防災ホームページ

目黒区の災害情報も掲載されています。



要望 7

避難場所一覧を風水害仕様に

HP を見ると、避難場所一覧のページに、今回開設されていない箇所を含めすべての避難所が掲載されており、紛らわしく感じます。開設している避難所の一覧のページのリンクをページ冒頭に追記していただけないでしょうか。



避難所一覧のページは平常時に周知するため、常時掲出しています。風水害時には開設している避難所だけを別途掲載するなど、わかりやすい情報発信については今後検討していきます。

要望 8

Twitter の一層の活用



即座に情報を拡散できる Twitter の一層の活用をお願いします

。「目黒区広報課」アカウントからの発信は、防災課や区長が自らのアカウントで発信していた区に比べると情報量も発信頻度も少なく、不安でした。



目黒区
Meguro City

現在は、関係所管が連携して広報課のアカウントで情報発信を行っています。複数のアカウントでの情報発信を実現しようとする場合、それぞれのフォロワーの確保、更新をする職員体制の確保、通信環境の整備に係る予算措置等、様々な検討が必要となります。今回の教訓から、防災無線と同じ内容を自動的につぶやくことができないか、模索しているところです。



目黒区広報課
@meguro_city



フォロー中

目黒区広報課から、区内の話題をお届けします。個別の返信はしませんが、要望の多いものはツイートします。詳しくは目黒区公式ホームページをご覧ください。

東京都目黒区 city.meguro.tokyo.jp

2010年10月からTwitterを利用しています

0 フォロー中 13,007 フォロワー

要望 9

区役所公式 LINE の導入



渋谷区では LINE による通知を導入し、LINE 上で避難所や防

災についての通知が行われていました。LINE は多くの方がアカウントを持っていて、HP のようにダウンロードする危険性も低いものですので、目黒区でも導入してもらえませんか。



目黒区
Meguro City

LINE の活用を具体化することとした場合は、職員体制の確保や予算措置も含めた検討が必要です。様々な機能を持つ LINE を業務に活用することについては、現在情報収集に努めています。



渋谷区のLINEについて

渋谷区では、平成29年2月15日からLINE（ライン）による情報配信を開始しました。渋谷区LINE公式アカウントでは、主に子育てに関する様々な情報を、お子さまの年齢やお住まいの地域に合わせてお届けします。

かいでん

LINE がほかの SNS と異なるのは、👉のように、相手からの連絡があったときに、目立つかたちで知らせてくれる点です。（プッシュ型通知機能）



これによって、区からのお知らせもより受け手に見てもらいやすくなります。

要望 10

適切な避難行動の周知

避難勧告は丁目ごとに出していますが、丁目の中には避難場所が自宅

よりも低地にあるケースや、目黒川に近づいてしまうケース、さらには自宅がハザードマップの白色地域にあるケースなど、「避難すべきか」悩ましい場所に家がある場合もあります。ケースごとに適切な対応ができるよう、より個別の事例に寄り添った避難勧告・情報発信をお願いします。



目黒区
Meguro City

浸水想定区域に居住する住民に分かりやすく、避難勧告の対象区域を伝達するには、現在の丁目単位が適切と考えています。今後も、より適切な避難勧告の発令の方法については検討していきます。

また、『避難所へ行く』ほかにも、『高い階に垂直避難する』等の避難方法もありますので、避難の考え方について、今後も一層の周知を行っていきます。

要望 11

避難所の受け入れ態勢などの情報の公開

今回の台風は休日に重なったため、避難所となった学

校の電話が繋がらず、問い合わせができませんでした。HP 上などで事前に、各施設にどの程度の受け入れ態勢が整っているか（受け入れ可能人数、持っていくモノなど）という情報を公開してもらえませんか。



目黒区
Meguro City

ご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきます。

要望 12

ペット同行避難の確約



地震の時にはペットの同行避難もできるとのことですが、風水害の場合にどうすればいいかわかりませんでした。避難所に連れて行って「断られたらどうしよう」「雨に濡れる場所にいることにならないか」不安でした。各学校との間で、ペットの居場所の調整を急ぎ行っていただき、雨風をしのげる場所にペットの居場所を確保するよう、手配をお願いします。



ペット同行避難については、現在、具体的な運用方法について検討中です。いただいた意見や要望を参考にしながら、区としての考えをまとめていきます。

地震の時のペット同行避難

Q 【一緒に避難できるのはどんな動物？】

A 同行避難できるのは原則として犬、猫、ウサギなどの小動物です。



トカゲ、蛇、カミツキガメ、ワニなどの危険動物や大型の両生類などは保護ができません。

≪地震発生！！≫

① 一旦、ペットと一緒に避難所に避難してきてください。

主な持ち物

・5日分の水と食料

・常備薬、療法食

・ケージ（避難時にケージに入れる必要はありませんが、必ず空のケージを持ってきてください。） etc.



② 避難所ではペットと人は別々に生活することになります。また、避難所のキャパにもよりますが、基本的にケージ内で生活していただくことになります。

③ 家が倒壊する恐れがある場合にはそのまま避難を続けていただけます。

家の安全が確認出来たらペットは帰宅、飼い主の方は家で一緒に生活するか、避難所でペットと離れて暮らすかを選択していただくことになります。

以上の内容は、今回の台風を受けての見直し次第でまた変更する可能性があります、今年度までの内容ということでご了承ください。なお、目黒区役所3階の生活衛生課で配布しているパンフレット（📄）に、より詳しい内容が載っています。



要望 13

避難勧告を出すタイミングの精査

今回は、目黒川の水位が下がり、雨が強まりつつあった17時45分に避難勧告が発表されましたが、目黒川の水位は16時ごろをピークにすでに低下に転じていました。もう少し早いタイミングで発令していれば、暴風雨の中で避難する必要もなかったのではないかと思います。発令のタイミングに間違いはなかったか、今一度の振り返りをお願いします。



今回は、気象庁から大雨特別警報が発令されたタイミングで、目黒川の水位の状況なども踏まえて、避難勧告を発令しました。発令のタイミングについては、様々な要素で判断することになりますが、適切な時期となるよう、今後検討を進めます。

お問い合わせ

☎ 090-3145-1156

✉ kazukaiden@gmail.com

発行元

かいでん応援団

HPIにて
団員募集中!

〒152-0013 目黒区南1-1-11



“トーク”で直接
お話ししよう



区議ってこんなこと
しているんです



よしなしごとを
つぶやいています



@KazuKaiden